

令和5年度 越知小学校 学校経営方針

■学校経営の基本理念

- ・児童には、「仲間と共に主体的に学びを追求し学校が楽しいと思える学校」を、保護者・地域には「信頼され協働したいと思える学校」を、教職員には、「教員としての専門性を追求し、教育の成果を喜びとして実感できる、やりがいのある学校」をめざす。
- ・社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性を發揮し多様な他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となる児童の育成をめざし、学校、保護者、地域、行政がつながりながら「チーム学校」「チーム越知」として、学校教育内容の工夫・改善・充実に努める。一人一人の児童の資質・能力を最大限に伸ばし、「知・徳・体・笑」のバランスのとれた人間形成をめざす。

■めざす学校像

- (1) 学校改革を更に進める学校（リニューアル越知第3期へ）
- (2) 生きて働く確かな学力の向上をめざす学校
- (3) 信頼され、地域と共にある学校
- (4) 温かい笑いのある学校
- (5) 変化に対応し、教育活動の充実に向け指導力を磨き、組織として創造的教育活動を展開できる学校

学校教育目標

仁淀川のように清らかに、横倉山のようにたくましく

■めざす子ども像

- ・人を大切に思いやりのある子ども
- ・笑顔で楽しく活動できる子ども
- ・考えて行動する子ども
- ・自ら学ぶ子ども
- ・最後までやり抜く子ども
- ・体をきたえる子ども

生きて働く「知識・技能」の習得

未知の状況にも対応できる
「思考力・判断力・表現力等」の育成

学びを人生や社会に生かそうとする
「学びに向かう力・人間性等」の涵養

■学校経営方針

一人一人の児童が自分のよさを發揮したり、友達のを認め合ったりしながら楽しく学び合い、自分の夢や目標に向かって、主体的に粘り強く取り組む児童の育成をめざす。そのために、「チーム学校」「チーム越知」（学校、保護者、地域、行政）として組織的・協働的に目標の実現や課題の解決に取り組むことができるシステムを構築し、教育活動の質の向上を図る（カリキュラム・マネジメントの充実）。

子どもが変わる、先生が変わる、学校が変わる

(H30・R1) ～「個の力」と「協働する力」を育むゆとりと充実のバランスを目指した改革～・(R2～) ～どの子も伸ばす、愛情と責任をもった学校づくり～
(R5～)自律型学習者の育成～笑顔と拍手と歌声がひびく学校づくり～

■研究テーマ

自ら学び、豊かに考える子どもを育む

～対話を通して、確かな力につなぐ子ども参画型の授業～ → 「知」と「創」をつなぎ循環する学びをめざして～

新学校システム

■業務の効率化・シンプル化

- ・ 事案決定システム
- ・ 一役二人チーム制
- ・ 直後プラン（DCAP）
- ・ 校務支援システム ・ 会議の縮減
- ・ 複線型の週時程（校内研・短縮校時）
- ・ 12月決裁の教育課程
- ・ 教職員の明確な役割分担（支援員、学習サポーター等）

■OJT

- ・ 人材育成（ファースト会、セカンド会、シニア会）
- ・ メンターチームの導入
- 子どもと向き合う時間の確保
- ・ 学校行事のリニューアル（社会教育とのリンク）
- ・ 家庭対話Day、ハッピーWの実施

■働き方改革

- ・ 授業外業務時間の確保のための工夫改善
- ・ 業務のデジタル化/クラウド活用の推進
- ・ NO残業Day/退校時刻の改善
- ・ ワークライフバランスの推進
- ・ 学校閉庁日の設定、計画的年休の取得
- ・ 社会教育との連携

校内研究システム

■研究推進

- ・ DCAPサイクル（チェック機能の充実）
- ・ ワークショップ型、子ども参加型ミニ研究協議会、セルフ授業の推進
- ・ 一人1回以上の研究授業、日々の公開授業
- ・ 授業者課題論文、参観者論文
- ・ 問題解決型授業展開（学習過程スタンダードをベース） ・ 宿題革命
- ・ 探究的な授業づくり～資質・能力の育成～
- ・ STEM/STEAM教育/総合的な学習の充実/ICT活用推進/～教科等横断的な学び～
- ・ 豊かな読書活動、図書館活用の推進
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体化

■授業づくり

- ・ 学習過程スタンダードの確立・ICTの活用
- ・ 「ま～ナビ」（児童用学びのセルフガイド）の活用
- ・ 全校授業づくり集会の実施
- ・ 越知型専科制の導入、異学年学習交流

■「道徳」「てつがくの学習」「外国語」の推進

■学力保障・学力向上対策

- ・ 放課後学習、横倉タイムの運用、基礎基本の定着 家庭学習の在り方検討
- ・ eライブラリー、すららドリル活用推進
- ・ 漢字検定の取組、学力調査等の活用
- 児童の主体的な活動【子ども参画型】
- ・ ノート展覧会 ・ クラブ活動の充実
- ・ 学級力向上の取組
- ・ 集会活動の活性化（仁淀川委員会、横倉委員会等）

CSと連携教育

■豊かな体験活動

- ・ 三つ尾委員会、地域ボランティアとの協働活動（開かれた学校づくり、地域学校協働本部事業、学校運営協議会等）
- ・ FDとの体力づくり

■学習支援活動

- ・ 放課後学習支援
- ・ 学力指導補助支援
- ・ サマースクール、セカンドスクール等学力保障支援（地域ボランティア、サポーター等の支援）

■保幼小中連携

- ・ 小中合同研修会（小中）
- ・ 保幼小連携接続の継続
- ・ Q-Uの活用（小中）
- ・ 合同避難訓練（保小中行政）

■専門機関との連携

- ・ 各種支援会、いじめ・不登校防止対策委員会等の実施（SC、SSW、教育相談等）

■地域貢献（2回/1人のボランティア）

- ・ 地区行事、地区運動会等への参加
- ・ 広報活動（学習の発展及び活用の場）
- ・ 地域資源、人材等の積極的な活用
- ・ 地域発信型の学習